



東恩納組 東恩納 惟 社長

ひがしおんな・ゆい 1992年生まれ、那覇市出身。東京大学大学院修了(有機合成化学)。2018年、積水化学工業(株)入社。19年7月、東恩納組入社。20年7月より同社代表取締役社長。

2020年を振り返って。2020年は新型コロナウイルスの流行を抜きに語ることはできません。観光や飲食業など、沖縄を支える基幹産業は大きなダメージを受け、異経済は非常に疲弊しています。設備投資意欲の減退によって、建設業界にも影響は出ており、弊社が目標としていた民間物件も延滞期となりました。民間工事の減少を公共工事で支える形になりますが、全てを補える訳ではありません。数字として影響が出てくるのは今年以降にありますが、建設費も今後1〜3年は厳しい荒波に耐えることになるかと見ます。しかし希望もあります。コロナが収束したら、今までの盛り戻しで観光客は一気に戻ってくるでしょう。ワーケ

ーションなどの新しい生活様式の提供にも沖縄は最適です。これらの需要を取り込むためには、ハード面の整備が不可欠であり、建設のニーズは依然として大きいと考えております。今期の状況をお聞かせください。

最良建築を安全第一に

建設現場はネットワークが難しく、感染拡大防止と生産性の両立には苦心しました。弊社は、流行の第一波を受け早い段階で独自民間検査機関と契約を結び、発熱者は濃厚接触者でなくともPCR検査を受けられる体制を敷くなど、withコロナを意識した現場運営を心がけています。そのうち中でも、昨年はランドパレス推も座間味歴史文化・健康づくりセンターなど、最高品質の建築を完成させることができました。今後もお客さまに最良の建物をご提供できる

課題です。弊社がこれまで給与福利厚生に力を入れており、職員が安心して長期的に働ける環境を築いてまいりました。また年制を撤廃し、高い技術力や知識を有する社員を確保しています。同

や弊社を知ってもらう機会を増やし、若手技術者へ門を広く開けています。人材確保だけでなく、現場管理ソフトや空調ドローンを導入するなど、労働生産性の向上にも今期は努めてまいりました。しかしこれは通過点にすぎません。AIやロボット技術の導入に、積極的な投資を今後も続けていきます。2021年の抱負をお願いします。「人を守り、心地よく、美しい建築物をつくる」のが弊社の建築理念です。この理念の下、全社員が一丸となって最高品質の建築物を、安全第一に「つくる」ことがわれわれの使命で、喜びです。基本的なことではありませんが「QCSB」を徹底し、今後もお客さまに喜ばれる東恩納組であり続けるよう、まい進してまいります。

人が好き 建築が好き

Chapelle Notre-Dame du Haut by Le Corbusier

企業理念 人につくし・自然とともに・社会のために
建築理念 人を守り、心地よく、美しい家造りで明日を築きます。

株式会社 東恩納組 [営業本部] 豊見城市字高安594番地
www.higashionna.co.jp